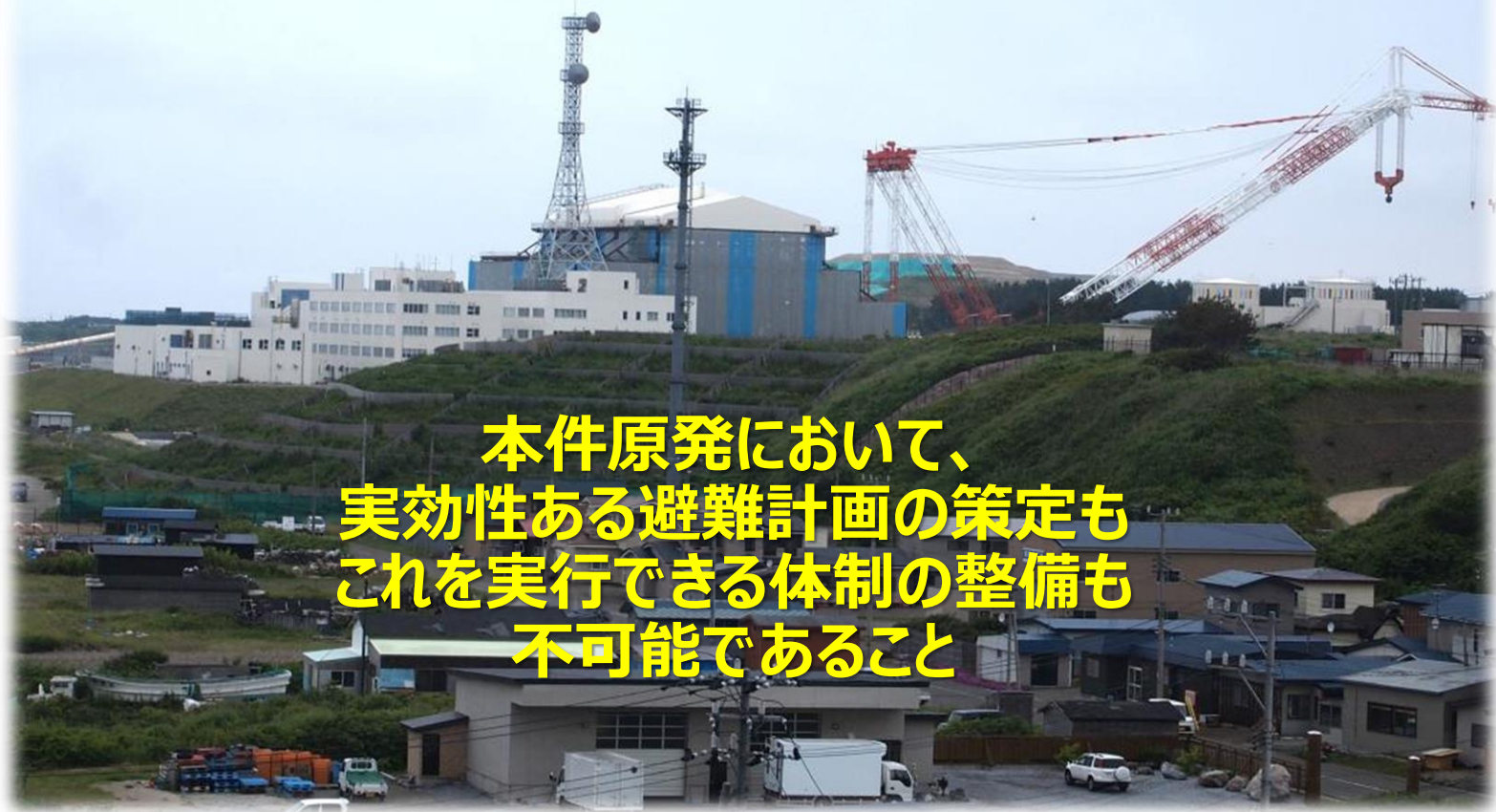


平成26年(行ウ)第152号 函館市 大間原発建設差止等請求訴訟

準備書面 (53) 能登半島地震は大間原発の地震想定の欠落を明らかにした

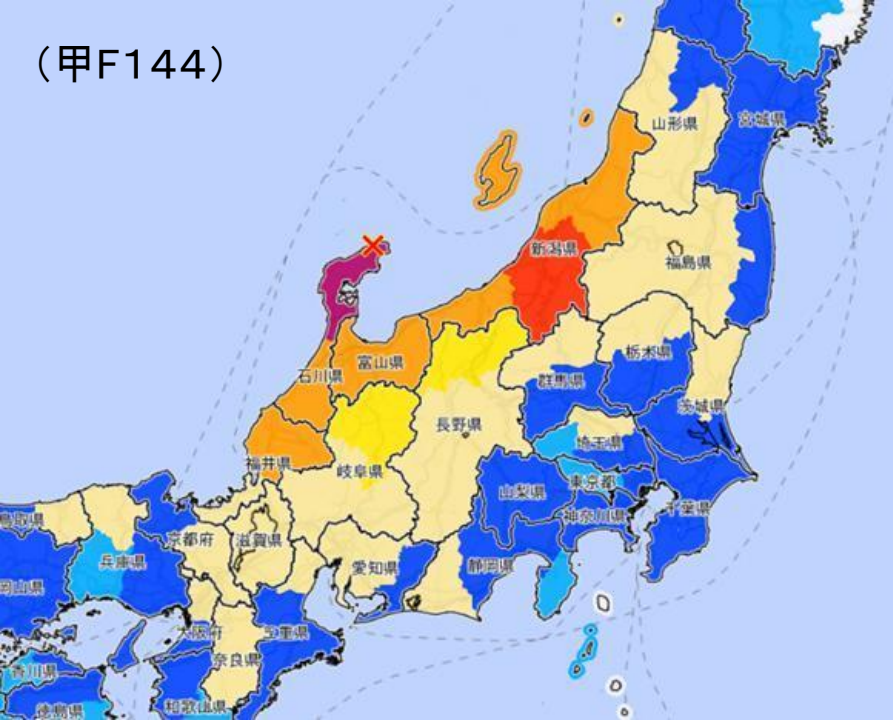


2024年 (令和6年) 2月26日第31回口頭弁論期日

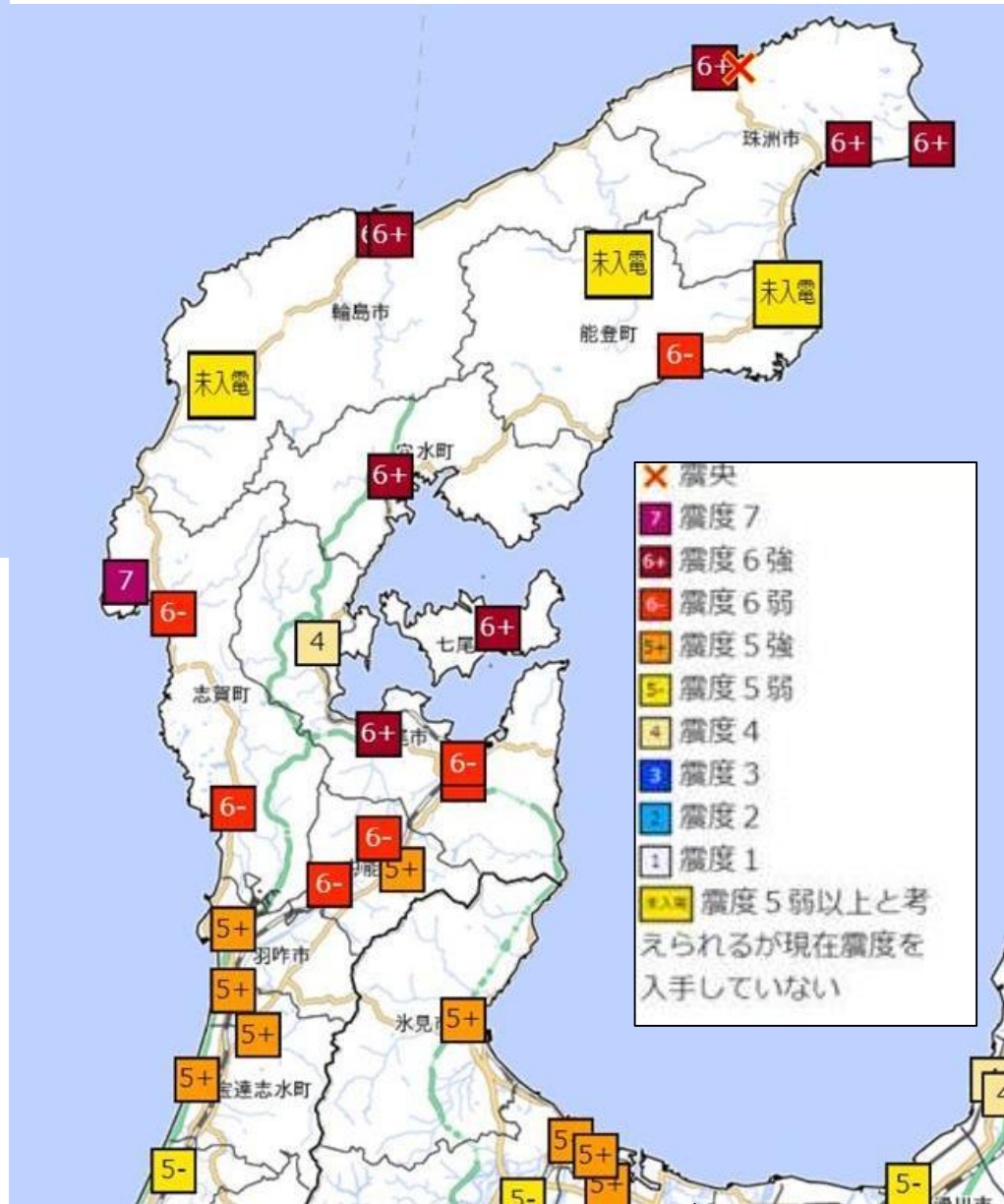
原告訴訟代理人 弁護士 兼平 史

原子力災害対策指針は、  
地震による家屋の倒壊を考慮していないこと

(甲F144)



2024年1月1日 令和6年能登半島地震  
M7. 6、志賀町で最大震度7を観測



石川県の発表(1月29日時点)

- ・死者238名
- ・負傷者1179名
- ・輪島市は行方不明者を「確認中」

(甲F163)

・建物被害棟数44, 386棟

1月17日時点では22, 495棟、輪島市や珠洲市、能登町は「多数」としか把握できていなかった。(甲F164)

(甲F145)

珠洲市の泉谷満寿裕市長(1月2日、福井県災害対策本部会議)  
「市内の6000世帯のうち9割が全壊またはほぼ全壊だ」「壊滅的な被害。建っている家がほとんどない。道路が寸断されており、支援物資を届けるのが困難だ」(甲F147)



(甲F152)

珠洲市 震度6強 被害棟数4652棟(1月29日時点)(甲F163)



志賀町 震度7 被害棟数4535棟(1月29日時点) (甲F151、甲F163)<sub>5</sub>



穴水町 震度6強 被害棟数2063棟(1月29日時点)(甲F163)



輪島市 震度6強 被害棟数1886棟(1月29日時点)(甲F166)



輪島市 震度6強 7階建てビルが根元から横倒し(甲F153、甲F154)



石川・輪島市  
1日午後6時ごろ



FNNプライムオンライン (FNNプライムオンライン)

輪島朝市周辺 大規模火災 (甲F156)

【第51報 令和6年1月17日14時00分現在】

連絡先：危機対策課  
(076-225-1482)

甲F第164号証

1 被害の状況（人的・建物被害）

市町名	人的被害(人)					住家被害(棟)					非住家被害(棟)			
	死者 <small>うち災害関連死※</small>	行方 不明者	負傷者		小計	全壊	半壊	一部 破損	床上 浸水	床下 浸水	小計	公共 建物	その他	
			重傷	軽傷										
金沢市				9	9	2 6 0 0					2 6 0 0		1	
七尾市	5			3	8	7 2 7 6					7 2 7 6	8 2	5 2	
小松市				1	1		9	9 9 1			1 0 0 0			
輪島市	9 8	3	確認中	2 0 2	3 0 2	6 0 2	多数	多数	多数		多数			
珠洲市	9 9	6		1 4 5		2 4 4	多数	多数	多数		多数			
加賀市							5	1 7	8 1 6		8 3 8	3 8	2 2	
羽咋市	1				6	7	1 3 9 3				1 3 9 3	6 1		
かほく市							8 2 0				8 2 0		2 7 5	
白山市				2	2			1 0 4			1 0 4		3 7	
能美市							1	2 3 0			2 3 1	9		
野々市市				1	1			1 0			1 0			
川北町								2			2		1	
津幡町				1	1		8 3 7				8 3 7			
内灘町							1 1 4 1				1 1 4 1			
志賀町	2			6	8 4	9 2	2 8 5 5			6	5	2 8 6 6	2 1	
宝達志水町							5 5 8					5 5 8	1	
中能登町				1	1	2	1 4 6 7					1 4 6 7		
穴水町	2 0			2 1	2 2 5	2 6 6	1 0 0 0					1 0 0 0		
能登町	7	5		1 0	2 5	4 2	3 5 2	多数	多数		3 5 2			
計	2 3 2	1 4		1 0 4 5		1 2 7 7	2 2 4 8 4			6	5	2 2 4 9 5	1 9 0	4 1 0

※ 災害関連死：震災による死者数以外で、震災後に災害による負傷の悪化または身体的負担による疾病のため死亡したと思われる死者数(市町が判断したものを計上)

※ 安否不明者：(1月17日14時時点) 21人(輪島市17、珠洲市4)

地震から17日が経過しても、被害の全容を把握できないほど甚大な被害が発生。

今回の令和6年能登半島地震では、発生当日から6日間で震度5強以上に限っても9回もの強い揺れが繰り返し襲っている(甲F146)。

## 5強



### 【震度5強】

- 物につかまらなさと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

(甲F157)

## 6弱



耐震性が高い

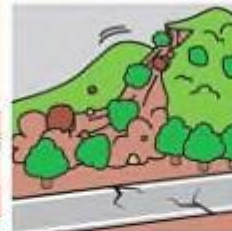


耐震性が低い

### 【震度6弱】

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

## 6強



耐震性が高い



耐震性が低い

### 【震度6強】

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

## 7



耐震性が高い



耐震性が低い

### 【震度7】

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多い。

## ○原子力災害対策指針

「UPZにおいては、段階的な避難やOILに基づく防護措置を実施するまでは屋内退避を原則実施しなければならない。」(甲F165・69頁)

←地震時に屋内退避はできない。

このことは、常識に照らしても明らかであるし、2016年4月の熊本地震でも明らかになっていた。今回の令和6年能登半島地震でも改めて明らかになった。

原子力規制委員会の山中伸介委員長でさえ、1月10日、「屋内退避ができないような状況が発生したのは事実でございます。」と認めている(甲F160)。

それにもかかわらず、現在まで、地震による家屋倒壊の場合の避難計画に係る具体的規定の欠如。

自宅での屋内退避を定める原子力災害対策指針の欠落は明らか。



原子力規制委員会  
委員長山中伸介氏

原子力災害対策指針は、  
地震による道路の損壊・寸断を考慮していないこと



珠洲市 能登の大動脈(国道249号線)が土砂崩れによって寸断  
(甲F158)



珠洲市 地震によって突き出たマンホール  
(甲F152)



輪島市 国道247号線  
(甲F152)





穴水町 道路の陥没に車両が落ち込んでしまった事態  
(甲F152)



内灘町 震度5弱  
(甲F167)



穴水町 道路の損傷個所に積雪  
(甲F166)

穴水町 救助等のために被災地へ  
向かう車両が渋滞(甲F152)



# 令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の状況

令和6年1月8日(月)  
7時00分時点

- 1/4から国道249号の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、海側の国道249号の復旧に向け、(一社)日建連により緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸からくしの菌状の緊急復旧も進めており、既に6方向で沿岸部へ通路を確保

## 緊急復旧の進捗率

	1/7 7時	現在
半島内の 主要な幹線道路	約6割 ⇒	約7割
うち国道249号 沿岸部※	約2割 ⇒	約4割
沿岸部への到達	5箇所 ⇒	6箇所

※輪島市門前町～珠洲市役所

## 孤立地区数の推移

1月5日8時	33地区
1月7日14時	24地区

※内閣府防災資料より  
※孤立地区には支援物資が届けられているとの情報

## 写真①

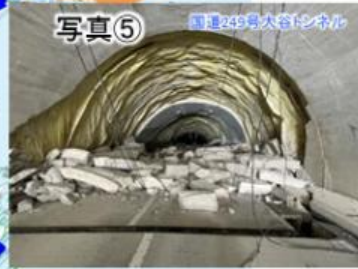


写真④



国道249号法面崩落

写真⑤



(甲F160)



・**国道249号線**(能登の大動脈・能登半島沿岸を走る、能登半島唯一の国道)は**地震から1週間経っても複数箇所**で寸断したまま

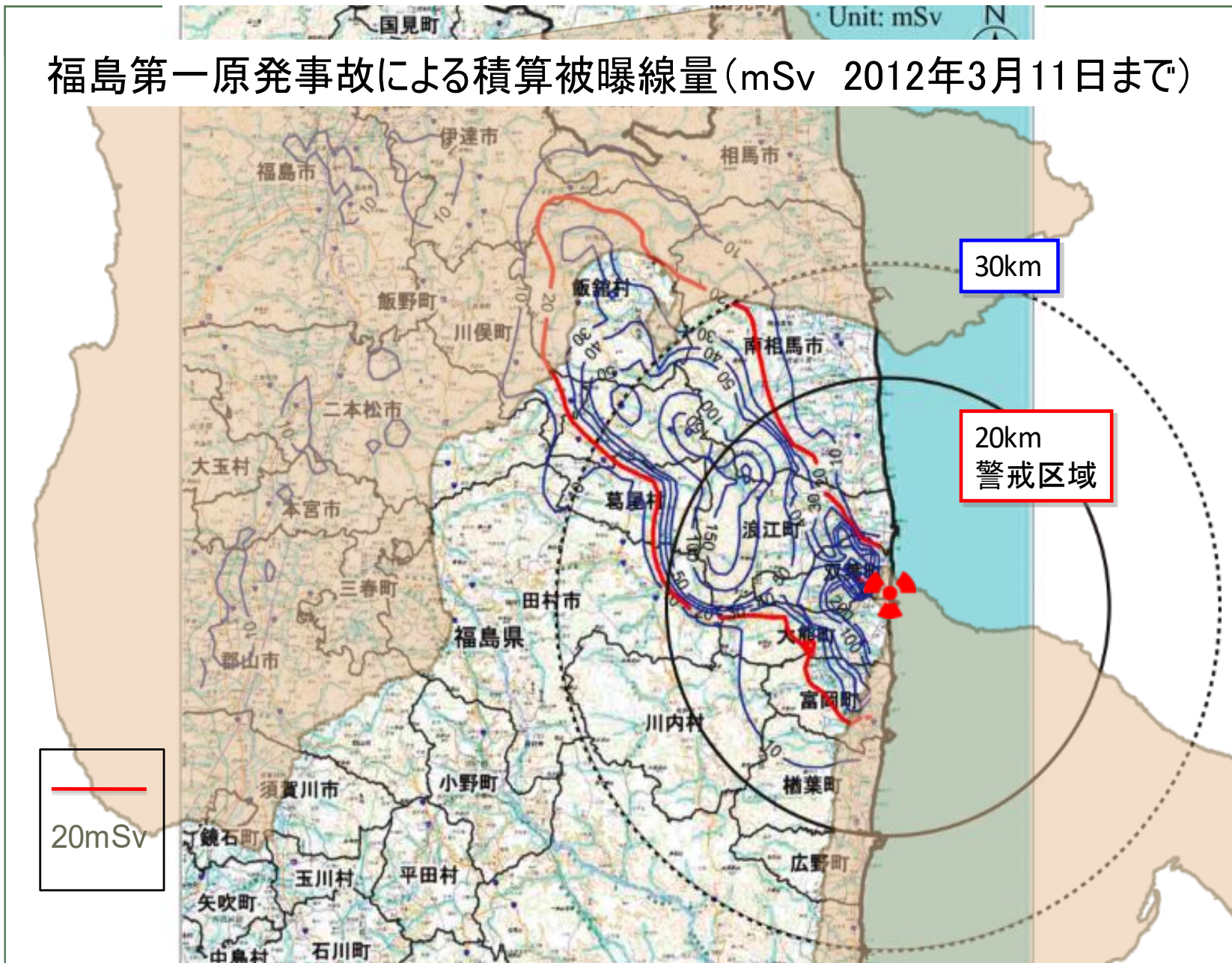
・国道249号線の**復旧着手は1月4日**

・孤立集落の住民(1月11日)**3,124名**(甲F149)

## 凡例

- : 国交省対応(走行可能)
- : 県対応(この他にも作業を実施)
- : 自衛隊対応
- ⊗ : 国道249号被災箇所
- ⊗ : 完了(応急含む)
- : 孤立集落(内閣府防災資料)
- : 孤立集落(報道等)
- : 孤立集落(解消済)
- ★ : 復旧業者到達地点

# 福島第一原発事故による積算被曝線量 (mSv 2012年3月11日まで)



# 大間原発電からの距離



1:200,000

